

Forest 通信



11

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター No.309

巻頭 photo **高尾山の生きものたち**

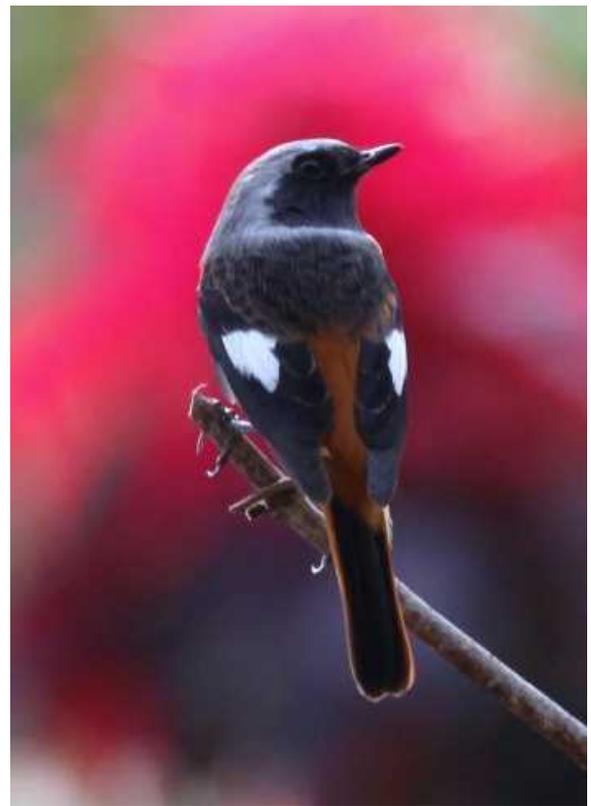
ジョウビタキ(ヒタキ科)

裏高尾町の畑で10月中旬ジョウビタキに出会いました。今秋初見ですが、私のジョウビタキ初見例では10月下旬ですので、今回の観察は1週間早いこととなります。

両脇の白紋から「モンツキ」とか、人を怖れないところから「バカッチョ」、鳴き声から「ヒーカタ」の異名があり、確かに撮影中も鳥の方から寄ってくることがあります。

翌春4月ごろまで日本で避寒生活を送りますが、その愛くるしい姿を随所で見せてくれますので、観察をお勧めします。

(写真・文 大作栄一郎氏)



いろはの森

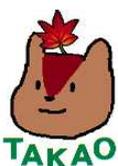
天高く馬肥ゆる秋。この季節になると「空はなぜ青いのか」と思いをはせる人も多いことでしょう。

先日、今年のノーベル物理学賞に青色発光ダイオードを開発した日本人3氏が輝きました。(米国では、米国人1氏と日本人2氏と報道しているようです。)青色は古今東西の物理科学者にとって大きなテーマの一つとされていました。3氏は世界規模で省エネや地球温暖化防止などに貢献する革命的な開発と賞賛されています。

森林教室が最盛期を迎え、小生も恥ずかしながら子供たちを森林観察に案内する際に「なぜ葉っぱは

青い」、「アオキ(常緑低木)の名前の由来」、「なぜ緑色をアオというか」、「大昔の日本語は白・黒・赤・青の四色のみ」、「光の三原色(青色・緑色・赤色)と反射」など、数少ない引き出しで解説していますが、わかってもらえているかは怪しいものです。

季節の移ろいがはやいもので、ここ高尾地区の山々は、カツラが黄葉に、モミジやツタウルシが紅葉に衣替えし始めています。小生も秋支度をし、もうちょっと引き出しを増やさなくてはと考えるこのごろです。ただ、引き出しに悪臭を放つ「屁こき虫」(カメムシ)が入り込まないように注意する必要があります。(か)



高尾森林ふれあい推進センターは、皆さんが高尾山の自然に親しみ、森林や林業に理解を深めるための諸活動を行っています。

土窯を再生しました!

＝炭焼窯づくり体験イベント報告＝

「炭焼き」は古くて新しい森林再生を担う活動です。「炭焼き」は森林の新陳代謝を行いその環境を持続するとともに、人間は森林から大きな恵みを楽しんでいます。「炭焼き」は人間と森林の静かな対話です。今回のイベントは、そのような炭焼き活動の基本となる「炭焼窯(土窯)づくり」を行いました。

窯づくりの工程は結構複雑でまた時間が掛かるものです。今回は、6月中旬から7月下旬までの都合5回に分けてイベントを計画しました。途中で梅雨時の悪天候もあり、イベント中止も余儀なくされましたが、予定より1週間遅れの7月19日、窯は無事に再生されました。このイベントには、遠くは千葉県、また都心からも熱心な炭焼に興味を持つ方々が12名参加されました。最初は皆さん初顔合わせのぎこちなさも少しありましたが、段々仲間意識も出てきて、非常に良い雰囲気でも窯づくり作業を行うことができました。

窯づくりは大きく3つの工程に分けることができます。①窯底づくり、②窯壁づくり、③天井づくりの3つです。この中で一番大変な作業が③の天井づくりですが、これも①と②の作業がしっかりとできていないと、最悪「天井が崩れる」ということとなります。イベントは、まず皆さんに炭焼窯の原理と窯づくりの流れを知ってもらうために「座学」から始めました。座学は高尾山日影沢のキャンプ場で実施し、実際の作業は高尾山山頂へ向かう「いろはの森コース」を少し登ったところで行います。このような高尾山の豊かな緑に囲まれた中での作業は森林浴も兼ねることになり、参加者一同「体も気持ちもリフレッシュできた!」と口をそろえていました。とはいえ、それでも作業は「粘土運び&コネ」「立ち木(窯の中に立て込む木)づくり」「粘土タタキ」など土窯づくりは相当な肉体労働も伴います。今回の参加者の半数は女性で、男性顔負けの“働きぶり”には講師陣もびっくり、目を見張りました。

いろいろな悲喜交差を経験しながら迎えた最後のイベント日は、講師陣もフルメンバーで臨み総勢17名、生憎の雨天にも関わらず各自の熱気が土窯天井部へ注ぎ込まれました。いよいよ天井部仕上げ作業です。講師スタッフにとってもこの段階は、それぞれの思いが入り込む作業で、緊張感を持って指導に当たりました。まず炭材仕込み作業から始め、いよいよ天井仕上げの粘土打ち込み作業に入ります。約3トン余りの粘土運搬をリレーで行い、そのあと粘土タタキをおよそ3時間あまり休みなく実施、午後4時にまるで古墳のような天井部が仕上がりました。参加者全員、非常な肉体的疲れを上回る“達成感”を得たイベント最後にふさわしい作業となりました。みなさん、ご苦労様でした。



6月15日(第1回):講師の話真剣に聞く様子



6月22日(第2回):窯底づくり作業の様子



7月5日(第3回):窯に立て込んだ立ち木の様子



7月12日(第4回):天井部敷木作業の様子



7月19日(第5回):完成した土窯の前で記念撮影

森林カレッジⅢ 桜について学ぶ

平成26年度第3回森林カレッジを10月4日(土)に受講生24名が参加し、高尾森林ふれあい推進センターと多摩森林科学園で実施しました。

午前の部として、森林総合研究所多摩森林科学園園長 吉丸 博志(よしまる ひろし)先生による、「桜について学ぶ」と題した講義を行い、日本の野生の桜は10種類あること、多摩森林科学園・国立遺伝学研究所・新宿御苑の栽培品種1479個体の識別・分類するためDNA解析を行い整理したなどの話に、参加者はメモを取りながら興味深く受講しました。

午後は、多摩森林科学園へ移動して樹木の解説を聞きながら散策しました。ムササビの巣に蛇が来ないように幹にトタンを巻いたり、樹名板や樹木の用途を模型などと一緒に展示したり、桜を斜面に植えて雑草を刈る回数を減らし土が流れないようにするなどの取り組みについても解説していただきました。参加者からは、「桜の品種のくわしい話や、その特徴について知ることができた」、「種類の多さや知らないことの多さにおどろきました」、「講義の内容を実際に歩いて見ること、実感することができた」等の感想がよせられ、好評のうちに終了することができました。



吉丸先生の講義を熱心に受けるカレッジ生



多摩森林科学園内を散策



樹木の解説

職場体験学習

八王子市立 恩方中学校

10月21・22日の二日間、貴重な体験ができました。鎌研ぎや草の刈り方等はつらかったけど、とても勉強になりました。色々な木についても教えてくれたり、ビデオや資料で勉強したり、インターネットを使って調べたことも良い経験になりました。クラフト体験でも、親切に教えてくれ本立てを作れました。

二日間だけでしたが、この仕事の大変さがよくわかりました。この二日間で教えてもらったことや体験を忘れずにほかのことも色々頑張りたいと思っています。(青木さんの感想文から抜粋)



下
斜
刈
面
体
で
験



森
日
林
本
っ
て
？

森林教室

相模原市立
作の口小学校

最高気温が30度まで上がった10月とは思えない暑さの10/3(金)、相模原市立作の口小学校5年生95名が森林ふれあい館にやってきました。

午前中はパワーポイントの教材で森林の働きについて学び、丸太切りに挑戦しました。ほとんどの生徒にノコギリを使用した経験があり、あまり戸惑うこともなく一人で何枚も切り、友達同士で見せ合いっこしていました。

午後は森林散策です。気温が上がるなか一生懸命山道を登り、午前中学んだことや知らない植物の名前など、引率者に積極的に質問していました。



大 100
き 歳
い の
な ス
! ギ

森林教室

八王子市立
七国小学校

大型の台風19号が通過した翌日の10月15日、みなみ野君田小学校5年生149名の森林教室を開催しました。台風一過にもかかわらずあいにくの雨、前日の小雨の予報に反して本降の中の森林教室となりました。

午前中は、2班に分かれて森林学習とふれあい館の裏にシートを貼っての丸太切りを体験しました。丸太切りは前日にわくわくビレッジに宿泊して疲れが残っていたせいか丸太がなかなか切れない子もいましたが全員2~3個切ることができました。

午後から予定していた森林散策は、雨が降り続いたこともあり学校の要望で中止とし、木の輪切りのキーホルダーの作成に切り替えました。子どもたちは輪切りに好きな絵を描き仕上げました。

森林散策は中止となりましたが、楽しい思い出とキーホルダーをお土産に元気に帰校しました。



木 輪
工 に
体 な
験 っ
て

NEW information 参加者募集中!

森林散策とつるかご編み



冬の気配深まる高尾山を森林散策し、自然の素材でつるかごを編んでみませんか。

- と き 平成26年12月6日(土)
- 集 合 京王線高尾山口駅前 9:00
- 解 散 " 16:00頃
- 開催場所 大平国有林 森林ふれあい館
- 実 施 高尾森林ふれあい推進センター
- 募集人員 20名(応募多数の場合は抽選)
- 参加費 一人80円(保険料)
- 持ち物 昼食、飲物、軍手、雨具、着替え、保険証
- 服 装 防寒具、帽子、手袋、歩きやすい靴

【申込方法】

往復ハガキの往信面に、参加者全員の①郵便番号②住所③氏名(ふりがな)・年齢・性別④電話番号(中止などの緊急連絡用)⑤電子メールアドレス⑥このイベントを何でお知りになったか。返信面には、お申込者の宛名をご記入のうえ、高尾森林ふれあい推進センター「森林散策とつるかご編み体験」係までお申し込みください。

★申込〆切 平成26年11月21日(金)必着

【日影沢キャンプ場休業のお知らせ】

2014/12/27~2015/1/4

年末年始の間、上記の日程でキャンプ場の利用を停止します。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

Forest通信 No.309

発行:高尾森林ふれあい推進センター

Forest通信へのご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

